

グローバル人材育成プログラム

別所 一 広
Kazuhiro BESSHO
数理情報学科 3年

1. この実習に参加した理由

今回グローバル人材育成プログラムに参加しようと思ったのは、3つの理由があった。一つ目は、今まで日本という国から外に出たことがなく、日本の価値観でしか日常生活で物事を見ていなかった自分を変えたいと感じたからである。二つ目は自分自身が知らなかった土地で生活してみたいと思ったからである。三つ目は自分の将来の選択肢を広げるために英語力を鍛えたいと思ったからである。

2. 実習が始まるまでに行なったこと

アメリカに到着してから実習が始まるまでの間いろいろな企業の見学ツアーに参加するとともに、現地で活躍されておられる日本人の方のお話を聞かせていただいた。ORACLE, Computer History Museum, PLUG and PLAY, Intel Museum, NASA Research Center, Facebook, Google San Francisco office をそれぞれ訪れたが中でも特に印象的であったのが Google San Francisco office であった。そこでは、一般の人が入ることのできないオフィスの中を、そこで働かれている外国人エンジニアの方に社内案内をしていただいた。その中で最も印象に残っているのが、従業員が自分のデスクではなく、至る所にあるソファや椅子に座って仕事をしていることである。なぜ、そのようなことをしているのか自分なりに考えたところ、日本のように自分のデスクに座ってパソコンに向かってずっと仕事をしているとストレスがすごくたまると思う。しかしいろいろな場所で仕事をすることで、そのようなストレスが少しでも軽減されるのではないかと思った。そのようなところが日本とアメリカに職場環境の違いなのかと思った。また、現地の日本人の方のお話では、実際にア

メリカで働くことの楽しさや難しさ、やりがいなどを聞かせていただいた。私と年齢が一つしか変わらないのに、現地で自分の会社を持っておられる人がいるのだと知った。三人の方のお話を聞かせていただいた中で共通点を発見した。それは、三名の方とも「自分のやると決めたことはやる。」という強い意志を持ってアメリカで仕事をされていることである。文化も言語も日本とは全然違う土地で仕事をするには、これほどの強い意志を持たないといけないのだと分かった。普段日本にいるときはなかなか聞けないお話だったので非常に貴重な時間となった。

3. 実習中に行なったこと

今回は San Jose の Japan town にある図 1, 2 のような、「Ukulele Source」というウクレレ専門店に実習をさせていただいた。実習では、お店にあるすべてのウクレレのチューニング、お店にある楽譜などが書かれた本の在庫確認、お店にある CD の在庫確認、介護ホームで行われたウクレレコンサートでの機械設置、ウクレレのサブスクールに送るためのウクレレの状態確認・梱包、お店に来られる日本人のお客様と販売員との通訳を行い、またウクレレの弾き方、ウクレレの弦のかえ方を教えていただいた。自分はこの実習に参加するまでウクレレについて全く知らなかった。しかし、これだけの仕事をさせていただき、ウクレレについて学んだのはもちろん、仕事を行うときに意識することや、サービス業において何が大切なのかを学ぶことができた。



図 1 実習先のウクレレ専門店 (Ukulele Source)



図2 店内の様子

4. 今回のプログラムに参加して感じた事

今回アメリカでインターンシップとホームステイを行い、現地の方と共に生活を送ったことは本当に自分の成長につながるいい機会だったと思う。アメリカでの生活の中で日本と違うと感じたのは、人のかかわり方であった。現地の方々は、自分から積極的に人と関わろうとしていた。例えば日本のコンビニで買い物をするときに、商品をレジに持っていくと、レジの店員さんとお客様は必要最低限の話しかしないがアメリカでは店員さんの Hello! から始まり How are you? と会話が続き、人と人のつながりを非常に大事にしていると思った。初めて来られるお客様であっても、いつも来てくださる常連客であっても、変わらず対応しているようであった。一

度きりのお客様であっても、楽しくお話をするのは、少しでもお客様に買い物を楽しんでいただきたいという気持ちと、そのお客様とのつながりを持つことによって人脈を広げることが可能になるためではないかと考えた。また人と人とのつながりを大事にしていると感じたのは、困っている人を見かけたときには、必ずと言っていいほど、手を差し伸べることである。私は、アメリカ人の優しさを目にする機会にたくさん遭遇した。特に印象的であったのが、バスで高齢者の方が乗ってこられたときに、なんの躊躇もなく席を譲っていた人が多いことであった。日本でもこうした行動を目にする時はあるものの、若い人が座っている前に高齢者の方が立っていることが多い。しかしアメリカでは、バスの中で高齢者の方が立っていることは一切見られなかった。

今回アメリカに行って実習を受け、生活をしたことは、私にとって大きな影響を与えた。今まで日本という国の中だけで生活を送ってきたので物事をみる視点が限られてしまっていた。しかし今回アメリカという国で生活を送ることにより、物事を見る視点がさらに増えた。そして、これから自分が何か問題に遭遇した時、いろいろな視点からその問題を解決することが可能になったと考える。私のこれからの人生の中でこの経験はとても大きな出来事として残っていただろうと思う。